第７１回　卒業証書授与式

学　事　報　告

令和７年３月１日

北海道標津高等学校

次　　第

一　　修礼

二　　開式のことば

三　　国歌斉唱

四　　校歌斉唱

五　　学事報告

六　　卒業証書授与

七　　式辞

八　　祝辞

九　　祝文祝電披露

十　　記念品贈呈

十一　表彰

十二　送辞

十三　答辞

十四　閉式のことば

十五　修礼

お祝いのことば

　高等学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様並びに教職員の皆様には、本日の慶事をお祝い申し上げますとともに、これまで生徒の成長にご尽力いただきましたことに、心から敬意を表します。

　卒業生の皆さんは、これまでの学校生活において、家族や友人、先生など多くの方々に支えられながら、学業はもとより文化・スポーツ活動などに励み、心身ともに大きく成長して、本日ここに、高等学校の課程を修了することとなりました。

本日、多くの思い出が詰まった学び舎を巣立つに当たり、輝かしい未来への夢と希望に胸を躍らせていることと思います。北海道教育委員会として、皆さんの洋々たる門出を心から祝福し、前途のご多幸をお祈りいたします。

これからは、一人一人がそれぞれ異なる道を歩んでいくことになりますが、明日からの新たなスタートに当たり、人々の心に残る詩を数多く創作してきた高階杞一氏の「準備」という詩を皆さんに贈ります。

　待っているのではない　準備をしているのだ　飛び立っていくための

　見ているのではない　測ろうとしているのだ　風の向きや速さを

　初めての位置　初めての高さを

　こどもたちよ　おそれてはいけない

　この世のどんなものもみな　「初めて」から出発するのだから

　落ちることにより　初めてほんとうの高さがわかる

　うかぶことにより　初めて　雲の悲しみがわかる

　未来を担う皆さんには、将来を予測することが困難な時代の中、これまで学んだ知識や経験を生かし、様々な困難を乗り越え、幸せや生きがいを感じられる人生を送られることを心から願っております。

　結びに、卒業生の皆さんのご健康とご活躍をお祈りして、お祝いのことばといたします。

　　令和７年３月１日

北 海 道 教 育 委 員 会

沿革の概要

昭和09年 ４月 ９日 公立青年学校標津村立標津実践女学校として開校

昭和16年 ４月 １日 標津村立北海道標津実科高等女学校に昇格し開校

昭和18年 ４月 １日 標津村立北海道標津高等女学校に校名改称

昭和24年 ４月 ７日 標津村立北海道標津高等家政学校として開校

昭和25年 ５月 ２日 北海道中標津高等学校標津分校として開校

昭和26年 ４月 １日 標津村立北海道標津高等学校として開校

昭和27年 ４月 １日 全日制課程普通科設置(全１間口１学級・定１間口４学級)

昭和28年10月15日 校章・校歌制定(作詞：矢吹弘照　作曲：飯田三郎)

昭和29年 ３月23日 初めての道外修学旅行（京都、奈良、伊勢、鎌倉、江ノ島、東京、日光、

 12泊13日）

昭和30年 ８月28日 校旗制定（寄贈：小野李吉氏）

昭和32年 １月15日 北海道標津高等学校同窓会設立

昭和33年 ４月 １日 全日制課程普通科１間口増(全２間口４学級・定１間口４学級)

昭和35年 ４月 １日 全日制課程普通科１学級を商業科に学科転換

昭和37年 ７月 タイプ部、全国高校和文ﾀｲﾌﾟﾗｲﾃｨﾝｸﾞ競技大会北海道大会で団体・個人

 優勝、全国大会出場（昭和39,40,41,42年も）

昭和38年 ２月15日 生徒会誌『潮流』創刊号発行

昭和38年 ３月31日 道立移管

昭和43年 ４月 １日 全日制課程商業科１学級普通科に学科転換

昭和44年11月15日 現在地に移転(新校舎竣工移転)

昭和44年12月18日 体育館竣工

昭和45年 ３月31日 全日制課程商業科閉科

昭和48年 ４月 １日 全日制課程普通科１間口増(普通科３間口７学級)

昭和58年10月 １日 校訓制定

昭和63年12月14日 制服改定(ブレザー型)

平成 元年 １月18日 新校舎への移転完了

平成 元年 ９月22日 強歩大会（当初「大会」、開始年度、トドワラ～学校）

平成 ６年 ９月22日 強歩遠足（野付半島～学校へコース変更）

平成 ８年 ４月 １日 全日制課程普通科１間口減(普通科２間口８学級)

平成10年11月 ２日 車椅子用トイレ新設（やさしい町づくり事業）

平成11年 ７月18日 第47回標高祭最終日、「お父さんのグルメ屋台」初出店

平成14年 １月　　　 吹奏楽部、全道リコーダーコンテスト金賞・会長賞、全国大会（3月）出場

 　　（平成15年から計15回出場、20,29年は全国金賞・花村賞）

平成15年 ９月　　　 吹奏楽部、全道高校音楽発表大会器楽管弦楽部門最優秀賞

（平成16年度から計6回出場）

平成21年 ８月　　　 陸上部、全国高校総体出場(100M、走高跳、槍投、ハンマー投げ)

（平成22年から11回出場）

平成30年 ７月 １日　ユネスコスクール認定

令和 ３年 ３月12日 根室管内教育実践表彰

令和 ３年 ３月13日 内閣府防災教育チャレンジプラン防災教育優秀賞受賞

令和 ４年 １月 ７日 防災未来賞「ぼうさい甲子園」フロンティア賞受賞

令和 ４年 ３月13日　第26回防災まちづくり大賞　消防庁長官賞受賞

令和 ５年 １月26日　令和４年度 北海道教育実践表彰

令和 ５年10月26日　令和５年度 文部科学大臣賞（学校安全表彰）

令和 ６年 ４月 １日 地域みらい留学　全国募集参画

令和 ６年 ９月 １日 防災功労者内閣総理大臣表彰

令和 ６年12月 9 日　NoMaps釧路・根室2024　高校生ビジネス&地方創生コンペティション

審査員特別賞受賞

卒業生名簿

Ａ　組　１９名

担　任　髙村　慎太郎

副担任　室田　優人

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | 芦　﨑　海　凪 |
| 2 | 岩　間　　　優 |
| 3 | 太　田　珠璃那 |
| 4 | 岡　田　匠　秀 |
| 5 | 小　野　由　奈 |
| 6 | 工　藤　彩　奈 |
| 7 | 久保田　功　誠 |
| 8 | 小　林　　　巧 |
| 9 | 佐々木　理　胡 |
| 10 | 佐々木　凜ノ介 |
| 11 | 佐　藤　芽　生 |
| 12 | 柴　田　沙　彩 |
| 13 | 坪　川　佑　汰 |
| 14 | 新　田　美　空 |
| 15 | 橋　詰　一　冴 |
| 16 | 村　上　大　和 |
| 17 | 山　中　快　斗 |
| 18 | 横　山　　　空 |
| 19 | 𠮷　江　輝　貴 |

卒業証書授与式表彰者及び代表者一覧

（１）表　彰　者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 組 | 氏　名 | 受賞理由 |
| Ａ | 太田　珠璃那 | 行動、学業に真面目に取り組むとともに防災減災活動を主体的に進め、被災地へのボランティア活動や町の防災行政へ貢献し、その活動を発表し、優れた業績を残したため。 |
| ＜主な成績・表彰・資格等＞令和６年９月１日　防災功労者内閣総理大臣表彰受賞 |

（２）代　表　者

在校生送辞　２年Ａ組　若月　桃

卒業生答辞　３年Ａ組　太田　珠璃那

同窓会幹事　３年Ａ組　岩間　優

𠮷江　輝貴

令和６年度卒業生　進路決定状況

●令和６年度卒業生　進学決定状況

大学・短大への進学状況

・文教大学　・北海学園大学

各種専門学校等への進学

・北海道立漁業研修場　・札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校

・北海道中央調理技術専門学校(2)　・東京アニメーションカレッジ専門学校

・ベルエポック製菓調理専門学校　・札幌こども専門学校

・札幌調理製菓専門学校　・北海道理容美容専門学校

公務員・民間企業等への就職

・標津町役場(2)

・計根別農業協同組合　・コマツ道東　株式会社　・愛国デンタルクリニック

・東盛運輸　株式会社　・株式会社　はなまる

※（）内の数字は人数

　教職員一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 役職・教科 | 氏　　名 | 役職・教科 |
| 渡　辺　　幹　夫 | 校　　　長 | 中　村　　公　一 | 英　　　語 |
| 木　幡　　伸　二 | 教　　　頭 | 工　藤　　有　紗 | 家　　　庭 |
| 美　谷　　園　子 | 国語・芸術 | 小笠原　　　　健 | 情報・商業 |
| 束　田　　大　樹 | 地歴・公民 | 髙　山　　鈴　加 | 養護教諭 |
| 室　田　　優　人 | 数　　　学 | 佐々木　　　　公 | 事　務　長 |
| 鈴　木　　祐　二 | 理　　　科 | 橋　詰　　美　穂 | 事務主任 |
| 髙　村　　慎太郎 | 理　　　科 | 佐々木 　和　美　　　 | 主事（非常勤） |
| 松　倉　　直　樹 | 保健・体育 |  |  |

　旧職員（入学以来転出・退職された職員）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 転・退 | 職　名 | 氏　名 | 転　出　先 |
| 令和３年度 | 転出 | 校　　長 | 森　田　　泰　史 | 紋別高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 瀬　川　　裕　生 | 岩見沢東高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 柳　楽　　航　平 | 釧路北陽高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 古　城　　一　樹 | 池田高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 芳　賀　　　　泰 | 興部高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 中　野　　夏　実 | 富良野高等学校 |
| 転出 | 養護教諭 | 西　村 　　　 麗 | 千歳高等支援学校 |
| 転出 | 事 務 長 | 山　角　　尚　樹 | 広尾高等学校 |
| 転出 | 事務職員 | 佐 々 木　　陸 | 小樽水産高等学校 |
| 令和４年度 | 転出 | 教　　頭 | 濵　谷　　成　樹 | 池田高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 平　山　　直　樹 | 札幌琴似工業高等学校 |
| 転出 | 教　　諭 | 佐　藤　　秀　史 | 大麻高等学校 |
| 令和５年度 | 転出 | 教　　諭 | 池　本　　浩　行　 | 中標津高等学校 |
| 転出 | 事 務 長 | 渡　井　　芳　幸　 | 室蘭養護学校 |
| 退職 | 主事（非常勤） | 佐　藤　　真　妃　 |  |



**一、太平洋を　打ちよする**

**世界の潮　のりこえて**

**真理の光　求めんと**

**永遠に絶えざる　標津川**

**清き流れに　筆そそぎ**

**われら文化の　使徒たらん**

**二、海別岳の　峰高く**

**ホニコイの丘　草萌えて**

**はまなす薫る　磯の香や**

**若き血潮に　学究の**

**心も身をも　健やかに**

**われら文化の　使徒たらん**

**三、白鳥ゆるく　はばたける**

**学びの庭を　船出して**

**人生の怒濤　逆まくも**

**清新の意気　溌剌と**

**正義の白帆　輝やかし**

**われら文化の　使徒たらん**

